

1. 年 表

年 表 目 次

1) 昭和37年度～昭和45年度 (1962～1970)	1
2) 昭和46年度 (1971)	3
3) 昭和47年度 (1972)	5
4) 昭和48年度 (1973)	9
5) 昭和49年度 (1974)	13
6) 昭和50年度 (1975)	15
7) 昭和51年度 (1976)	17
8) 昭和52年度 (1977)	19
9) 昭和53年度 (1978)	21
10) 昭和54年度 (1979)	25
11) 昭和55年度 (1980)	27
12) 昭和56年度 (1981)	29
13) 放射光実験施設	31

昭和37年度～昭和45年度
(1962年～1970年)

昭和37年 5月(1962年)

- 日本学術会議が、大型加速器(大型陽子シンクロトロン)の建設を含む「原子核研究将来計画の実施について」を政府に勧告

昭和39年 4月(1964年)

- 東京大学原子核研究所に巨大加速器の基礎研究のための経費計上
- 以後、昭和44年まで基礎・準備研究費として、総額約14億円が計上された学術会議原子核特別委員会に素研準備調査委員会発足(委員長 朝永振一郎氏、加速器責任者 熊谷寛夫氏、測定器責任者 三浦 功氏)

昭和40年 8月(1965年)

- 素研準備調査委員会改組(委員長 早川幸男氏、加速器責任者 諏訪繁樹氏、測定器責任者 三浦 功氏)

昭和44年 8月(1969年)

- 学術審議会、素粒子研究所の建設を含む「学術振興に関する基本的な施策について」を文部大臣に答申

昭和45年(1970年)

- 4月
- 文部省に素粒子研究の施設設備の整備等に必要経費(筑波で建物工事を始めるための経費等)を計上

5月

- 文部省、大学学術局に素粒子研究所(仮称)準備室を設置

6月

- 第一回加速器検討部会開催

7月

- 日本学術会議「原子核研究将来計画の推進について」文部大臣に申入れ

10月

- 第一回 物理専門小委員会開催(物理専門委員会の前身)

昭和46年 3月(1971年)

- 前段加速器室、加速器実験室、加速器準備室および変電室完成



加速器建設予定地にて地下水位調査(43年、筑波)
Underground water level is surveyed at the site planned for the accelerator construction (1968, Tsukuba).



工事排水により出来た人工池
カモの飛来により通称“カモ池”(45年、筑波)
Drainage work created a pond, which after their arrival is called the “Duck Pond”.



入射器高周波実験室(素研準備室)
Experimental rf set-up for the injector (Study Group for Proton Synchrotron).



文部省において「設置の準備調査に関する会議」(45年5月、東京)
 Committee for the Preparatory Study on the Accelerator
 Installation is held at the Ministry of Education (May,
 1960, Tokyo).



加速器実験室工事 (45年、筑波)
 Construction work for the accelerator
 experimental hall (1970, Tsukuba).



モデル電磁石実験室 (素研準備室)
 Tests of model magnets (Study Group for Proton
 Synchrotron).



高エネルギー研究所予定地視察 (45年、東大通にて)
 A group observes the site planned for KEK
 (1970, at Higashi-Odori Avenue).

昭和46年度(1971年)

4月

- 高エネルギー物理学研究所創設
(初代所長 諏訪繁樹氏)
(初代管理部長 松沢美作氏)
- 加速器研究系、物理研究系、共通研究系及び管理部設置
- 旧大筑波カントリークラブのクラブハウスに仮事務所設置
- 文部省内に東京連絡所、東京大学原子核研究所内に田無実験室設置
- 共同利用者宿泊施設開設

7月

- 加速器研究系筑波で作業開始

10月

- 第一回加速器専門委員会開催

11月

- 第一回評議員の会議開催(18日)
(議長 菊池正士氏)
- 750 keV コッククロフト・ウォルトン装置東大核研旧素研準備室より移設
- 高エネルギー物理学研究所外国人研究員等宿泊施設開設

12月

- 最初の外国人研究員スライタース氏家族を連れて来所

1月

- 高エネルギー研月報発刊
- 花室公務員宿舎完成・第一陣入居開始

2月

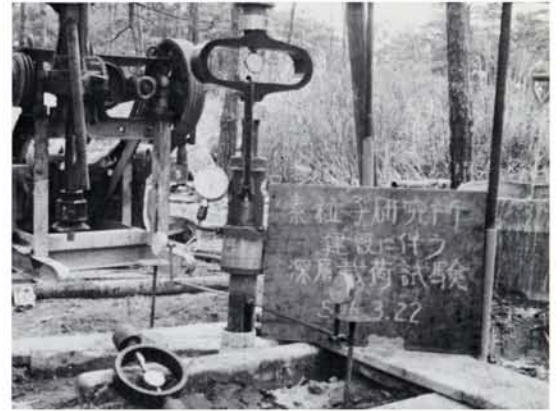
- 第一回高エネルギー研月例セミナー開催
(武田 暁氏)
- 高エネルギー研の英語名略称をKEKとする

3月

- 機械室、加速器コントロール室などの建物完成



研究所全景(初冬)
KEK, winter of 1971.

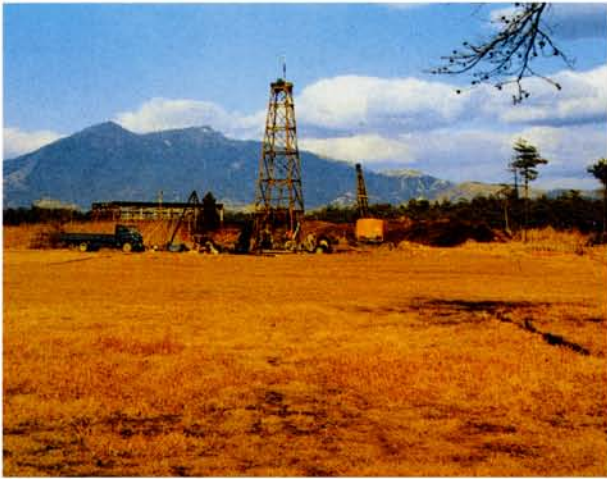


加速器建設地の地質調査
Geological survey.



仮庁舎兼職員宿舎
(旧クラブハウス)

The administration offices and staff lodging are initially in a former golf club house.



井戸掘り作業
Well drilling rig.



加速器実験室への搬入路（泥道をキャタピラにて補強）
Access to an experimental hall (the muddy road is kept passable by a pair of "caterpillar treads.")



最初の外国人研究員スライタース氏の家族
Theo Sluyters, the first research visitor from abroad with his family (BNL).



工作棟前の共同溝工事
Construction of an underground tunnel in front of the main workshop.



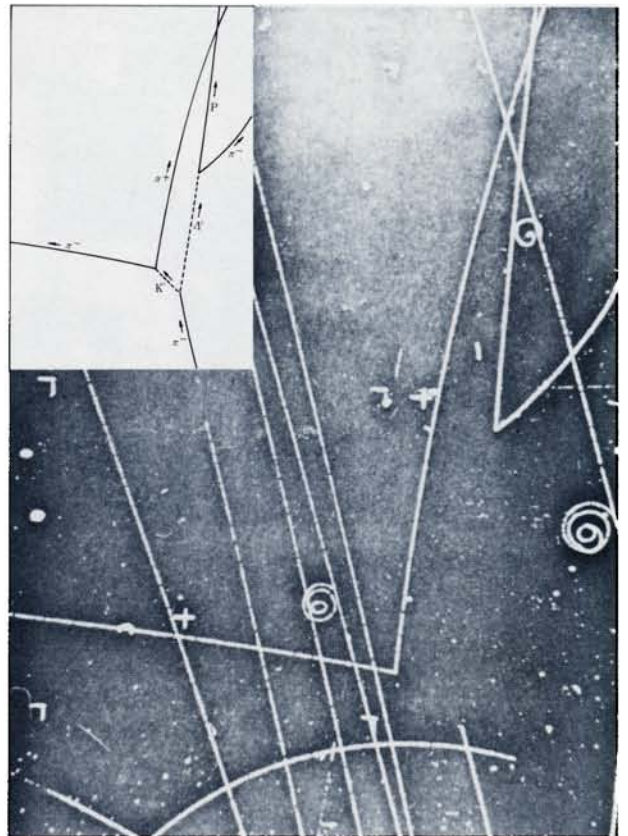
最初の外国人宿舎
First guest house for foreign visitors.

昭和47年度（1972年）

- 4月
○ 75 cm水素泡箱総合テスト運転開始
- 5月
● 第一回高エネルギー研運営協議員の会議開催（議長 西川哲治氏）
○ 第一回大学院受託学生募集
- 6月
○ 各種専門委員会設置
- 7月
○ 第一回泡箱写真自動測定装置設計部会開催
● 皇太子殿下御来所（19日）
○ O. Chamberlain 氏来所
○ 第一回高エネルギー研サマースクール開催
- 10月
○ 中央計算機棟竣工
● 東大核研電子シンクロトロンからの400 MeV/cの電子ビームを泡箱で撮影
○ 放射性同位元素、放射線発生装置の最初の使用申請、承認
- 11月
○ 10万枚の泡箱写真撮影に成功（田無実験室にて）
- 12月
○ 主リング四極電磁石第一号試作機搬入
○ 放射線障害予防規程制定
- 1月
● 第一期中央計算機システム運転開始（4日）
- 2月
○ 奥野誠亮文相来所
○ 高エネルギー研シンボルマーク制定
- 3月
○ 前段加速器により陽子ビーム6mA、400 keVに加速成功
○ 特高受電室、主リングを始め、加速器の本体を入れる施設建物の大部分、カウンター実験ホールなどが完成
○ ブースター電磁石製作完了
○ リニアック製作完了
○ 5000ℓ液体窒素容器、液体ヘリウム液化機設置



研究全景
KEK, 1972.



泡箱写真・奇妙な粒子生成（於田無分室）
Bubble chamber photograph showing formation of a strange-particle (at the Tanashi Branch of KEK).



KEKシンボルマーク



皇太子殿下と稲葉文部大臣御一行（前段加速器室にて）
 Prince Akihito and Minister of Education, Mr. O. Inaba, visit KEK
 (pre-injector room).



第1回運営協議会委員
 First members of the Advisory Council for Scientific Policy and
 Management.



茅先生、建設現場視察
 Construction sites are observed by
 Prof. S. Kaya.



第1回サマースクール
 First summer school.



研究所遠景 (クラブハウス屋上より)
KEK viewed from the top of the former
golf club house.



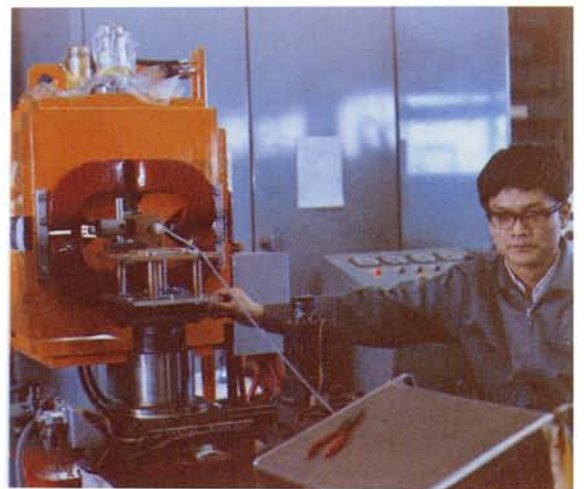
主リングトンネル基礎工事
Groundwork for the Main Ring.



ブースター電磁石組立開始
Installation of the Booster magnets is started.



ライナック基礎工事 (後方前段加速器室)
Groundwork for the Linear Accelerator.



主リング・4極電磁石1号試作機完成
Prototype quadrupole magnets for the Main
Ring is completed



カウンター実験ホール建設工事
Construction of the Counter Experimental Hall.



ブースター基礎工事
Groundwork for the Booster accelerator.



主リング及びカウンターホール建設現場
Construction of the Main Ring and Counter Experimental Hall.



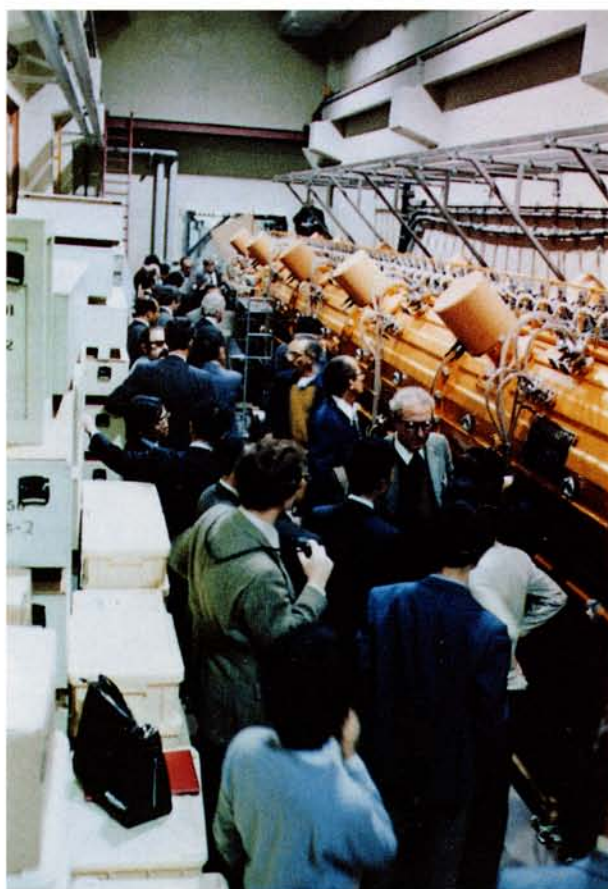
奥野文部大臣来所
Minster of Education, Mr. S. Okuno, visits KEK.

昭和48年度(1973年)

- 4月
 - 泡箱写真自動解析装置稼動
- 6月
 - 第一回安全連絡会(安全委員会の前身)開催
 - 偏極ターゲット用 $\text{He}^3 - \text{He}^4$ 希釈型冷凍装置設置(1.2 Kまで冷却)
- 8月
 - 研究棟一号館 1700 m^2 完成
 - TRISTAN(Transposable Ring Intersecting Storage Accelerators in Nippon)計画開始(当初はTriで現在はTransposableとなる)
 - ブースター電磁石通電テスト開始
- 9月
 - 研究系の大部分が、クラブハウスから研究棟1号館へ移転
 - リニアック・タンク据付完了
- 11月
 - 日米高エネルギー加速器科学セミナー開催(東京及び筑波にて)
 - 朝永振一郎氏来所
 - 水素泡箱室完成
- 12月
 - 1月
 - 田無実験室から泡箱装置の移転終了
 - 3月
 - 主リング電磁石製作完了



研究所全景
KEK, 1973.



日米高エネルギー加速器セミナー参加者KEK見学
Visit to KEK by the U.S.-Japan Seminar on
High Energy Accelerator Science.



ヘリウム液化装置
Helium liquefier.



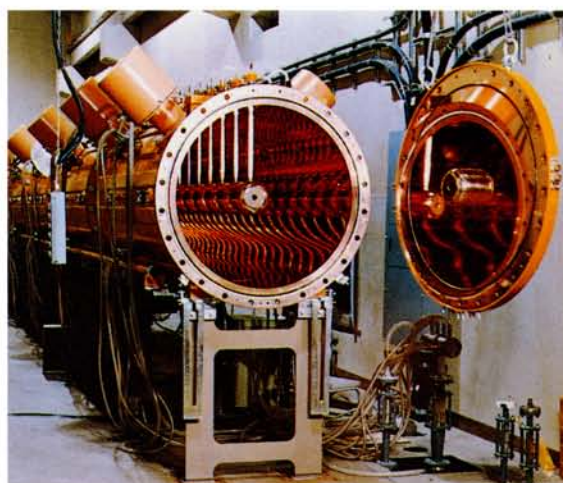
評議員朝永先生御一行加速器視察
Prof. S. Tomonaga visits KEK.



外国人研究員を囲んで
Welcome party for foreign visitors.



主リング用真空ダクト
Vacuum ducts for the Main Ring.



リニアック据付完了
Linear Accelerator is completed.



遮蔽ブロック積上げ中のカウンター実験ホール
Shield blocks are piled up in the experimental hall.



国際会議出席の中国代表团KEK訪問
A group of Chinese physicists visits KEK after an international conference.



ブースター電磁石
Booster magnets.



調整中の加速器制御用計算機
Accelerator control computer being setup.



主リング電磁石
Main Ring magnets.

昭和49年度(1974年)

- 6月
 - ブースター高周波加速装置完成
- 7月
 - 超伝導パルスダイポールマグネット開発研究スタート
 - 前段加速器試運転成功
(750 keVまで加速、23日)
- 8月
 - リニアック試運転成功(20 MeV、1日)
 - 研究棟2号館完成
- 9月
 - 共同利用実験審査委員会発足
- 10月
 - Semi-Open 利用開始(中央計算機)
 - 日仏セミナー(超伝導電磁石の加速器への応用)開催(フランスにて)
- 11月
 - 評議員会議議長 菊池正士氏逝去
(以後、議長 伏見康治氏)
 - 共同利用実験課題審査委員会(PAC)設置
 - 66 kV 高圧受電開始
- 12月
 - ブースター試運転成功(4日)
 - KAMA(KEK泡箱写真解析装置)完成



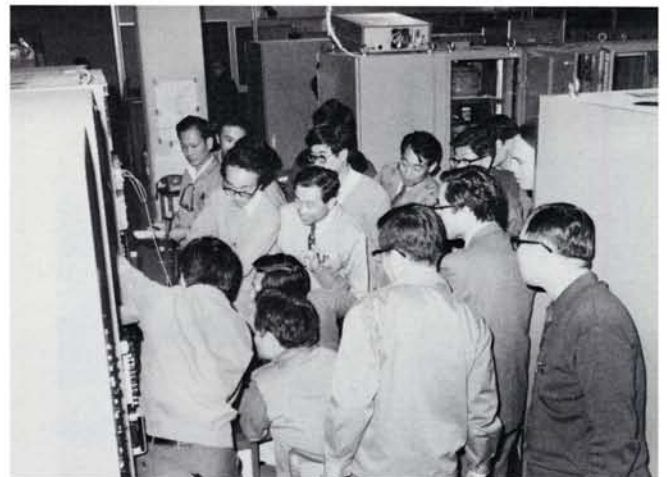
研究所全景
KEK, 1974.



2号館完成
Completion of Laboratory No.2.



放射線連続監視装置
Radiation monitors for continuous operation.



ブースター試運転
Booster accelerator goes into test operation.



菊池正士先生
Prof. S. Kikuchi.



1 m水素泡箱
The one-meter hydrogen bubble chamber.



特高受電施設
High voltage power supply.



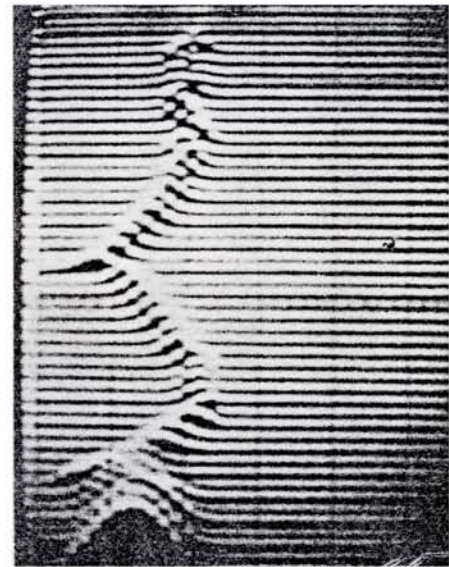
泡箱写真自動解析装置完成
Completion of the automatic bubble chamber photograph
analyzing equipment.

昭和50年度（1975年）

- 4月
 - 重藤学二管理部長着任
 - RI実験棟竣工
- 6月
 - ブースターからのビーム取り出し成功（5日）
 - 主リング電源の通電テスト開始
 - TRISTAN計画における第一回物理検討会開催
- 7月
 - リニアック、95mAのビームを加速に成功（24日）
- 8月
 - 第1回加速器科学研究発表会を筑波で開催
 - 筑南水道から受水開始
- 9月
 - 職員食堂、旧クラブハウスから新建屋に移転
- 10月
 - 中央コントロール室制御盤完成
 - 主リング真空、高周波加速装置完成
- 11月
 - 1m水素泡箱試運転成功
 - 主リング入射テスト成功（21日）
- 12月
 - 主リング4GeVまで加速に成功（19日）
 - 偏極ターゲット、陽子70%、重陽子26%の偏極に成功
 - 運動量分析用大型電磁石BENKEI完成
- 1月
 - 3mDCセパレータ電極間々隙10cmに900kVの電圧印加に成功
- 3月
 - 主リング8GeVまで加速に成功（4日）
 - 主リング9パルス入射成功（17日）
 - 主リング10GeVまで加速に成功（19日）



研究所全景
KEK, 1975.



ビーム・プロフィール (10.4GeV)
Beam profile (10.4 GeV).



職員食堂
Completion of the Cafeteria.

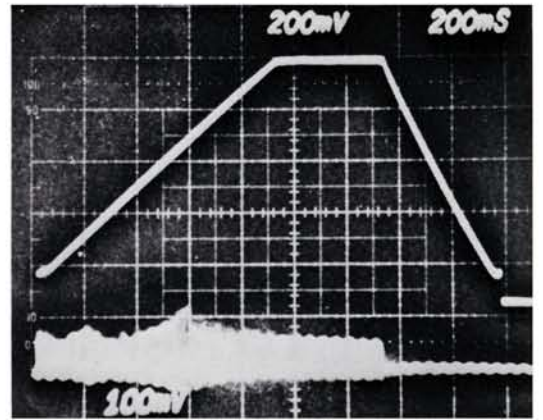


運動量分析用大型電磁石 (BENKEI)
BENKEI momentum analyzing magnet.

23:20
 Acc start 2.1 ~ 560msec (Eに7% Loss Monitor 7% 位之).
 23:40
 Acc start 2.1 620msec (Eに7% Loss monitor, Transition Marker を 検出).
 (Fast Zuluency は Eに Transition の (7%))
 March 4 '76
 00:32 待望の 8 GeV を 記録 15. (OV feed back 4% Phase Lock のみ)

運転ログブック抜粋

Log-book entry showing the accelerator achieving 8 GeV.



8 GeV加速成功 (上段：磁場 下段：ビーム強度)
The upper curve shows the magnetic field, the lower the beam intensity as the machine energy reaches 8 GeV.



8 GeV加速成功直後のよろこびの顔
The staff celebrates success in 8 GeV operation.

昭和51年度(1976年)

4月

- 陽子加速器完成記念式(兼開所式)、
第一回一般公開

7月

- ブースター利用計画について、次の事項
が検討された
第一期計画として中性子物理
(昭和52年度概算要求)、
第二期計画として中間子物理
(昭和53年度概算要求)

8月

- ブースタービームのダンプリング工事着
手

11月

- 公共下水道完成、放流開始

12月

- 放射線監視装置用テレメータ局認可
●1.8 GeVの加速に成功(22日)
○主リングからの速い取り出し成功

1月

- 速い取り出しビームラインEP1稼働
●内部ターゲットからの π 中間子ビーム強
度 4.7×10^4 ppp
○敷地境界用放射線モニターのテレメータ
化完了

2月

- 第二期中央計算機システム運転開始
(1日)
○KEKOPEN, KEKNET
両system利用開始
○主リング・ビーム強度 5.2×10^{11} ppp
に達す(23日)

3月

- 泡箱ビームライン完成(6 GeV π^- 発生)
○ π^2 ビームライン完成



研究所全景
KEK, 1976.

エネルギー物理学研究所陽子加速器完成記念式



加速器完成記念式
Accelerator completion ceremonies.



主リング高周波加速装置
The rf equipment for the Main Ring.



物理実験準備室
Counter Experiment Assembly Hall.



陽子加速器完成記念式諏訪所長挨拶
Accelerator completion ceremony address by the
director general, Prof. S. Suwa.



来賓伏見先生見学（加速器完成記念式）
Prof. K. Fushimi visits KEK for the accelerator
completion ceremony.



KEKビームによる泡箱写真撮影成功
A staff member happily points at
the announcement of successful
operation of the bubble chamber
with a KEK beam.

昭和52年度（1977年）

4月

- 西川哲治所長発令
（以後、運営協議員会議々長 菊池 健氏）
- 放射光実験施設の設置調査に必要な経費計上
- 中性子散乱実験施設建設開始
- 中性子物理、中間子物理、医学の三部門からなるブースター利用計画の大綱成る

5月

- 実験企画調整室設置
- 共同利用実験開始
- 最初の実験CEX（ π^-p 荷電交換反応）開始

6月

- ブースター・ビーム強度
目標値 6×10^{11} ppp 達成（23日）

7月

- 中国高エネルギー物理代表团来所
- 海部俊樹文相来所

9月

- 一般公開
（以後、9月15日を一般公開日とする）

11月

- 主リングからの、遅いビーム取り出し成功（ \bar{p} ，K確認、19日）
- ブースター・ビームダンプライン設備完成

1月

- 砂田重民文相来所

2月

- 筑波学園ガスから、ガスの受給開始



研究所全景
KEK, 1977.

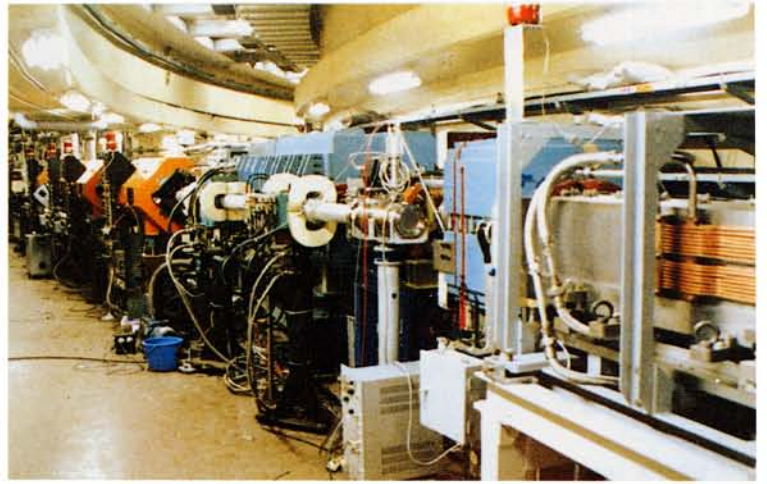


第二期中央計算機被露式

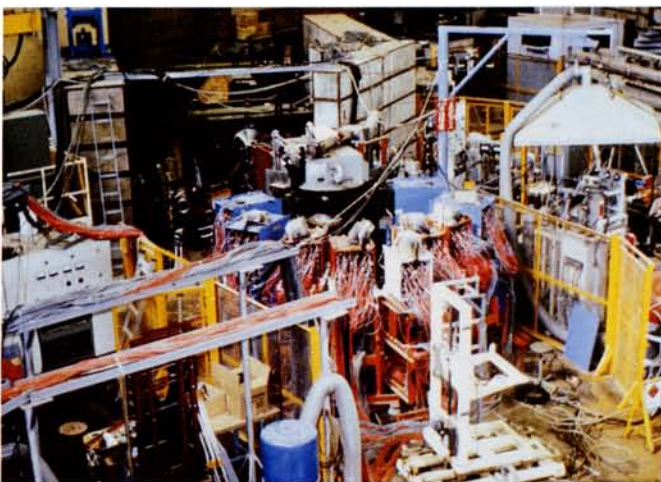
Ceremonial meeting on the occasion of the introduction of the second central computer system.



ブースターダンプライン
Booster dump beam line.



遅い取り出しビームライン
Slow-ejection beam line.



最初のカウンター実験（荷電交換反応）開始
First counter experiment (a charge exchange experiment)
is started.

昭和53年度（1978年）

- 4月
 - 中間子科学実験施設（東大理附属）発足
 - ブースター利用施設新設
 - 放射光実験施設新設
 - 遅い取り出しビームで実験開始
- 5月
 - 1 m水素泡箱ダブルパルス運転に成功
- 7月
 - 主リングビーム強度
目標値 2×10^{12} ppp を達成（24日）
- 8月
 - 19回高エネルギー物理学国際会議開催
参加国（38ヶ国、3国際機関）

外国参加	520名
国内参加	339名
投稿論文	1,115編
 - 巨大加速器と素粒子物理学の展望に関する国際セミナー

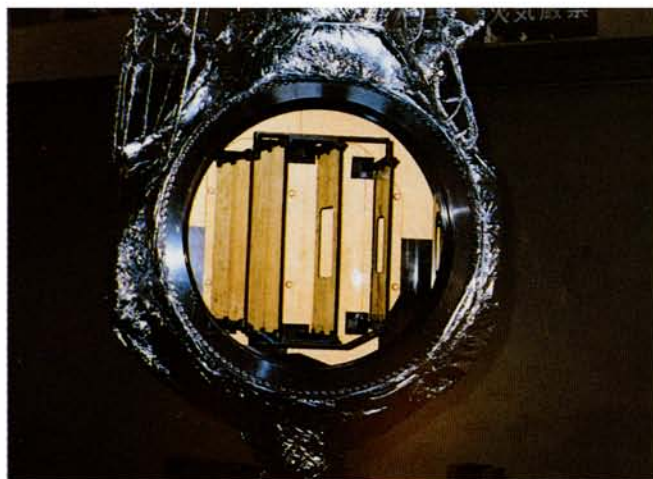
国内外	130名
参加論文	11編
- 10月
 - 主リング12 GeV 定常運転開始
 - K2, K3 ビームライン完成
- 12月
 - 研究本館完成
- 1月
 - K2, K3 ビームチャンネルでの共同利用実験開始
 - 放射光実験施設鋳入れ式（25日）



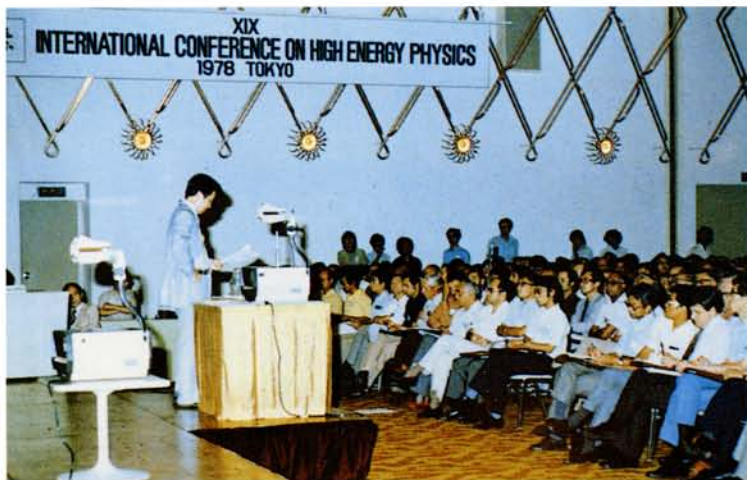
研究所全景
KEK, 1978.



高エネルギー国際会議出席者のKEK施設視察
KEK visit by a group of participants in the
international conference for high energy physics
in Tokyo.



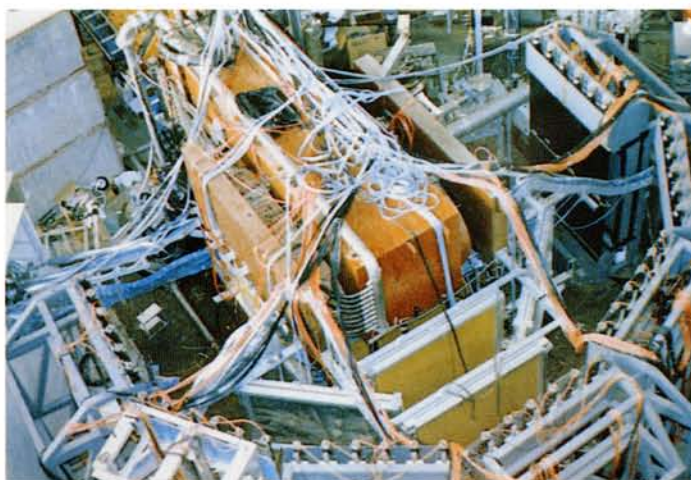
泡箱内部にタンタル装入
Tantalum is inserted inside the bubble chamber.



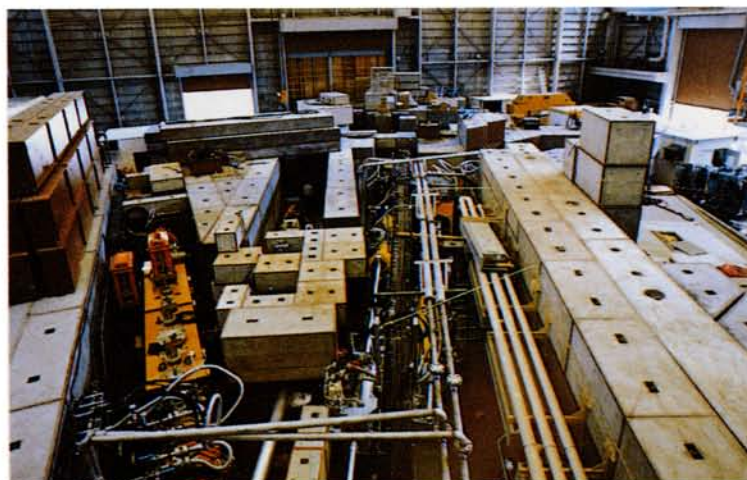
高エネルギー国際会議
The international conference for high energy physics.

素

湯川先生直筆
Caligraphy by Prof. H. Yukawa.



偏極重水素標の実験
Layout of an experiment using a polarised deuterium target.



カウンターホール内ビームライン
One of the beam lines in the Counter Experimental Hall.



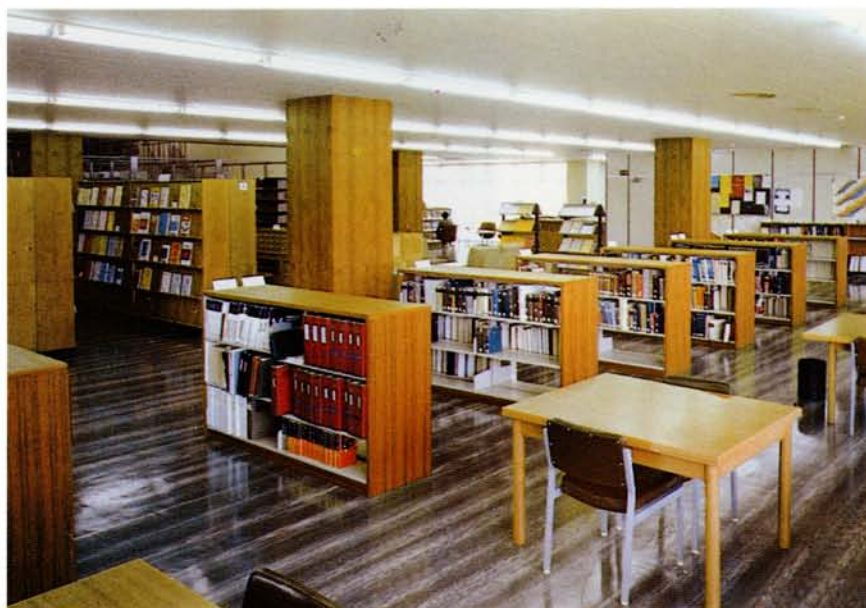
放射光実験施設起工式
Ceremony inaugurating construction of the
Photon Factory.



放射光実験施設工事開始
Construction work begins for the Photon Factory.



研究本館完成
Completion of the Main Laboratory.



図書情報資料室

Central Library and Technical Information Office.

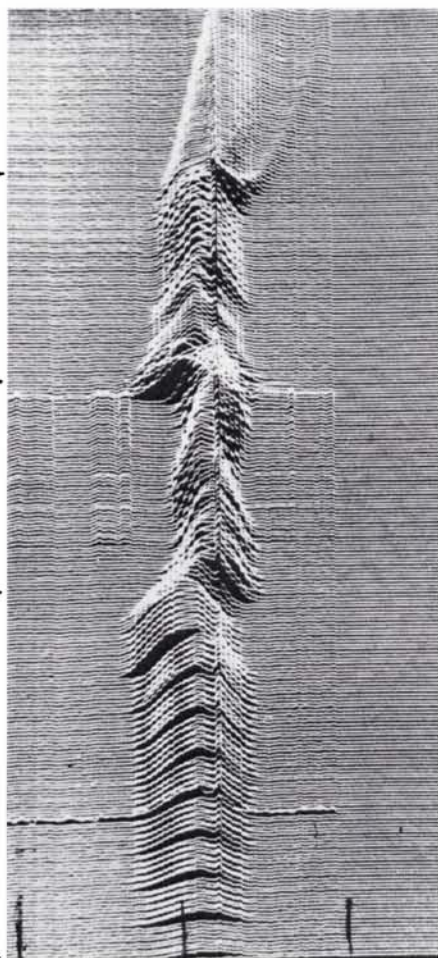
フラットトップ
flat top

トランジション
transition

加速開始
acceleration
start

(9パルス入射)
injection

入射開始
injection
start



ビームプロファイル (9パルス入射
12GeV)

A beam profile (9 injected pulses
at 12GeV).



K2ビームライン
K2 beam-line.

昭和54年度（1979年）

- 4月
 - 芳賀勝義管理部長着任
- 5月
 - 有線テレビ画像伝送システム（CATV）稼働開始
- 7月
 - 評議員 朝永振一郎氏逝去
- 8月
 - トリスタン・ワーキンググループ発足
- 11月
 - 第一回芸術祭開催（2日）
 - 高エネルギー物理学における日米科学技術協力事業実施取極（米国スタンフォードにて調印、11日）
- 1月
 - ブースター利用ビームライン完成
- 2月
 - トリスタン計画のための物理検討会開催
 - π 1用超伝導電磁石 36 kG 実現
 - 新外国人研究員等宿泊施設及び、新共同利用研究者宿泊施設開設
- 3月
 - カウンター実験ホール拡張成る
 - 密封型ストロンチウム・ β 線源粉失（翌日、発見回収）
 - 放射光実験施設入射器棟竣工



研究所全景
KEK, 1979.



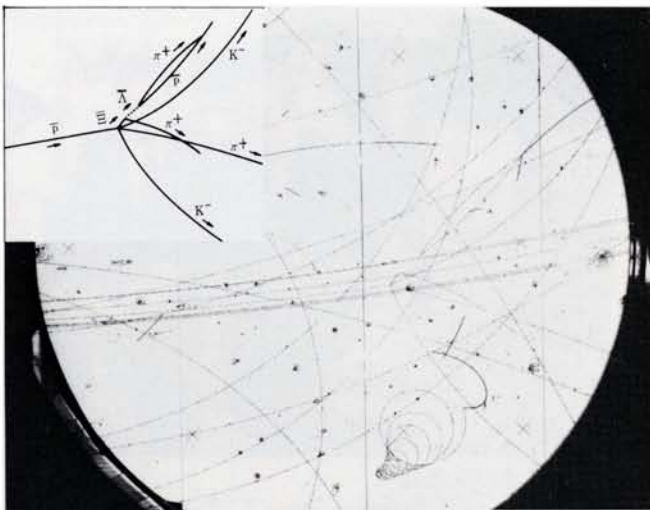
新共同利用研究者宿泊施設開設
New lodging facility is opened for experimental collaborators.



一般公開
Public open house.



日米科学技術協力実施取極調印式(米国スタンフォードにて)
 Signing ceremony at Stanford University for Implementing
 Arrangement on Japan/U. S. Cooperation in High Energy
 Physics.



泡箱写真ε現象
 ε-event captured in this bubble chamber
 photograph.



ブースター利用ビームライン
 Proton beam line to the Booster Synchrotron
 Utilization Facility.



第1回芸術祭
 First Cultural Day activities at KEK.

昭和55年度(1980年)

4月

- 偏極陽子入射器設備建設開始
- 粒子線医科学研究センター発足
(筑波大附属)

5月

- 主リングビーム強度 4×10^{12} ppp 達成(14日)
- 第二回日米高エネルギー物理学委員会開催(本所にて)

6月

- J. Bardeen氏来所
- ブースター利用施設への、ビーム入射テスト開始
- パルス熱中性子、熱外中性子の発生(18日)
- パルス冷中性子の発生(20日)
- トリスタン計画推進のための準備室発足

7月

- ブースター利用施設共同利用実験開始
- 中間子科学実験施設ミュオンチャンネルの50kG超伝導ソレノイド完成
- 超伝導電磁石1、2号モデルテスト運転開始
- CERNとの協定成立
- ミュオンビームの発生(17日)
- ミュオンスピンの観測

8月

- 田中龍夫文相来所

9月

- トリスタン・シンポジウム開催
- ブースター利用施設完成
(記念講演 久保亮五氏、13日)

10月

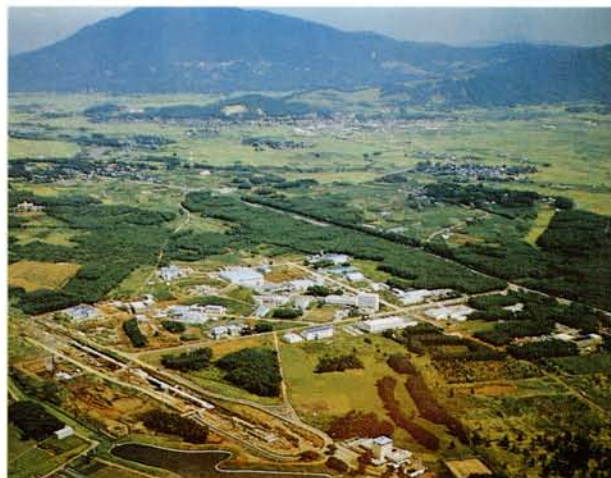
- ICANSミーティング(パルス中性子源国際集会)本所で開催
- 中性子散乱の共同利用実験開始(15日)
- パルス状ミュオンによるテスト実験開始(20日)

11月

- 諏訪前所長転出(筑波大へ)

12月

- 放射線管理棟竣工



研究所全景
KEK, 1980.



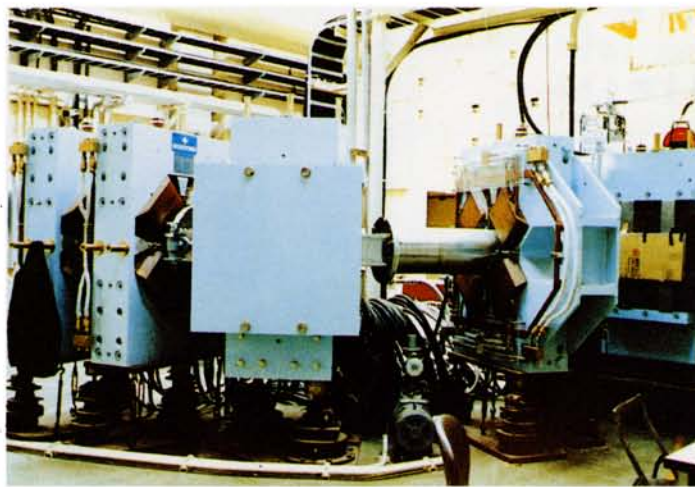
田中 文部大臣来訪
Minister of Education, Mr. T. Tanaka,
visits KEK.



第2回日米高エネルギー物理学委員会(KEK施設視察)
(R. Birge博士(LBL)、J. Leiss博士(DOE)、
W. Panofsky博士(SLAC)一行)
Members of the U. S./Japan Committee on High
Energy Physics observe KEK facilities.



久保亮吾先生記念講演（ブースター利用施設完成 式典にて）
 Memorial lecture is given by Prof. R. Kubo
 (at the ceremonial meeting at the completion
 of the Booster Synchrotron Utilization Facility).



ブースター利用施設（実験室）
 Experimental hall of the Booster Synchrotron Utilization
 Facility.



第2回日米高エネルギー物理学委員会出席者
 The Second Meeting of the U. S./Japan Committee on High
 Energy Physics takes place at KEK in May.

昭和55年度(1980年)つづき

2月

○ Samuel C. C. Ting 氏来所

3月

● NbTi 双極超伝導電磁石世界最高磁場
67.5 kG (1.8 K) に達す (25日)

○ 放射光実験施設電子貯蔵リング建屋竣工

昭和56年度(1981年)

4月

● トリスタン入射蓄積リング建設に必要な
経費計上

5月

● 500 MHz 超伝導高周波空洞世界最高
性能 (1.8 K, 5.9 MV/m,
 $Q_0 = 2.9 \times 10^{10}$) を示す (8日)

○ 光ポンピング型偏極イオン源 $4 \mu\text{A}$,
偏極度 40% に達す

6月

○ 江崎玲於奈氏来所

○ C. N. Yang 氏来所

○ 粒子線医科学センター建屋竣工

7月

● 泡箱、初期の目的を達成して、運転終了

● 放射光実験施設入射器 500 MeV 加速
に成功 (23日)

8月

○ 偏極入射器棟竣工

9月

● 第三期中央計算機システム稼働開始



駅伝大会
Marathon Day.



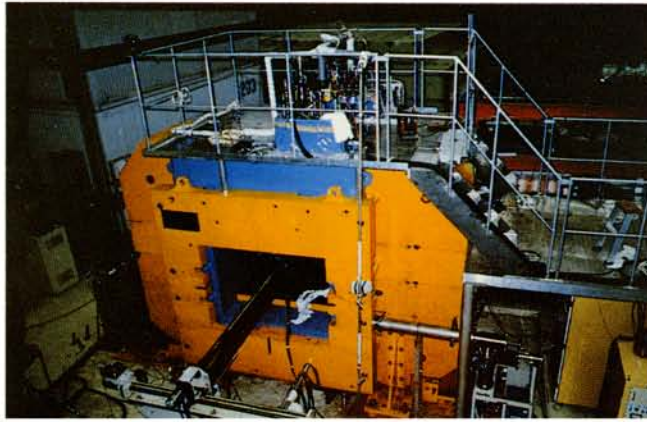
冷中性子実験室
Cold neutron experimental facility.



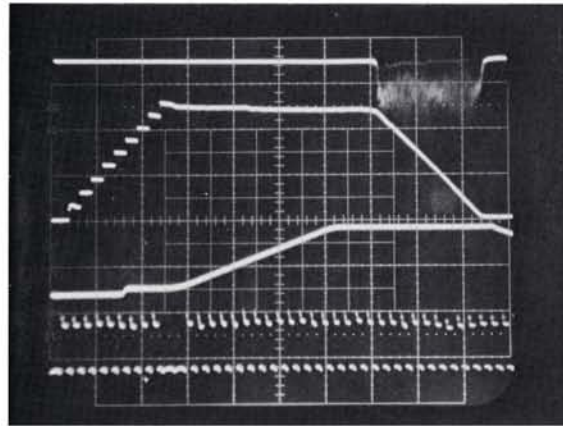
中性子分光器 (HIT, MAX)
Neutron spectrometers at
B. S. U. F. (HIT, MAX).



粒子線医科学センター
Particle Radiation Medical Science Center.



超伝導化されたBENKEI
BENKEI rebuilt as a superconducting analyzing magnet.



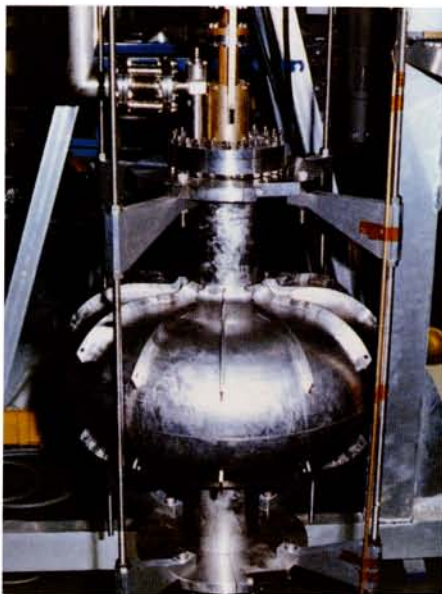
遅い取出しビーム
slow ejected beam

主リングビーム強度
Main Ring beam intensity

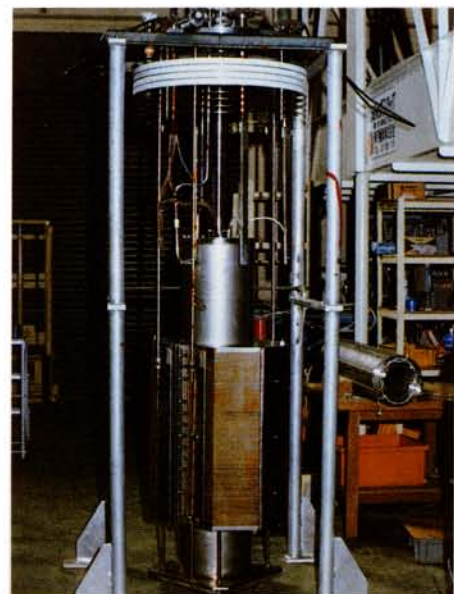
主リング磁場波形
Main Ring field strength

ブースタービーム
Booster beam

ブースター及び主リングのビーム加速
Television display during acceleration.



500MHz超伝導高周波空洞
500 MHz superconducting rf cavity.



トリスタン用モデル超伝導電磁石
Prototype TRISTAN superconducting magnet.

(放射光実験施設)

- 昭和46年 4月(1971年)
○回折結晶学研究者グループが、高エネルギー加速器研究者グループに研究参加を依頼
○文部省科学研究費「超高出力X線発生装置建設計画」により基礎研究に着手
- 昭和47年 4月(1972年)
○文部省科学研究費「電子軌道輻射による超強力X線発生装置の研究」により放射光の基礎研究を開始
- 昭和48年 3月(1973年)
○フォトン・ファクトリー計画世話人会発足
- 昭和49年度(1974年)
4月
○文部省科学研究費「フォトン・ファクトリー計画の研究」により、放射光実験施設の原型について研究開始
- 11月
●日本学術会議が「放射光総合研究所」設置を勧告
- 昭和50年度(1975年)
2月
○フォトン・ファクトリー懇談会を組織し、計画の実現を推進する
6月
●フォトン・ファクトリー懇談会、高エネルギー物理学研究所に協力を依頼
- 昭和51年 6月(1976年)
○高エネルギー物理学研究所
フォトン・ファクトリー専門委員会設置
- 昭和52年 4月(1977年)
●放射光実験施設の設置調査費計上
○放射光実験施設設置調査委員会を設置し、計画の具体的事項について検討
- 昭和53年度(1978年)
3月
○放射光実験施設委員会発足
4月
●放射光実験施設の創設経費が認められ、建設開始
1月
●放射光実験施設鉄入れ式(25日)
- 昭和55年度(1980年)
3月
○入射器棟完成
4月
○入射器加速管の大電力テスト
(21.4 MV/m)に成功(18日)
- 昭和56年度(1981年)
4月
○電子貯蔵リングの高周波加速空洞大電力テストに成功(1MV/空洞)
5月
○入射器の加速ユニット大電力テストに成功
6月
○電子貯蔵リング建物完成
○日本学術振興会結晶加工と評価技術第145委員会「放射光リソグラフィ小委員会」設置
7月
●入射器500MeV, 50mAの電子ビーム加速に成功(23日)



高良放射光実験施設長(一般公開講演)
Prof. K. Kohra, Director of the Photon Factory,
addressing an audience.



一般公開展示場
Open house exhibition.



放射光リニアック第1回ビームテスト
First beam test of linear accelerator.



放射光実験施設入射器側よりの全景
Photon Factory viewed from the injector site.



放射光リニアック
Linear accelerator for the Photon Factory.



クライストロンギャラリー
Klystron gallery.



放射光光源棟
Building for the storage ring and experiments.